

福竜丸だより

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話(521)8494

第五福竜丸と私の出会い

猿橋勝子

第五福竜丸は一九五四年三月一日早朝、ビキニ・エニウエトク環礁の東方、約一六〇キロの太平洋赤道海域で、アメリカの水爆実験による死の灰を吸びた。漁撈中であつたが、西方につよい閃光を見た後、しばらくしてから白い微粒子(死の灰)が船上にふり出したという。一平方メートルに〇・五から五グラムが降り、歩くと足跡がのこるほどであつた。

放射能のつよさは一グラムについて一・四キュリーであつた。がんの治療などに用いられるラジウムは一グラム一キュリーであるから、甲板にふつた死の灰はラジウムよりかなりつよい放射能をもつていたことになる。

その死の灰を吸びた船員は頭痛や吐き気を催したので、漁をやめ急遽、母港、焼津に向つた。帰港後、乗組員全員が重い放射能症にかかっていることが分り、全員入院した。

私と福竜丸との出会いは、この事件から二ヶ月余り後のことであつた。甲板にふつた死の灰の放射能分析は東大理学部の木村健二郎と南英一の両教授を中心として、教室の総力をあげて進められていた。しかし死の灰の本体については、炭酸カルシウムを含むことは分つてはいたが、定量はされていなかった。そのころ私は三宅泰雄先生のご指導の下に、海水中の炭酸物質の研究をはじめていた。そのため微量の炭酸の測定法を開発していたことに目をつけられた南先生は不破敬一郎助手(現東大教授)を同伴し、極微量のビキニ灰を持つて、私たちの研究室にお出になつた。

私は先生がはじめに出された試料を測定し「九九・九九%です」と報告した。すると不破助手は南先生に「よくあつています」と囁

いているのをきいた。つまり炭酸含量既知の試料で私の腕だめしをされたのであつた。南先生はようやく私の腕を信頼され、次に本番に入った。測定の結果は、灰の本体は炭酸カルシウムと酸化カルシウムが含まれ、炭酸カルシウムの含量は、十一・六%であることが分つた。この測定器は掌(てのひら)にのつてしまいくらいの小さいもので、その操作は微妙で少しの油断もできない。私は大先生を前にして、精神を集中しての測定に大変緊張し、手がこわばつたのを思い出す。

この測定結果はその翌々日、京都大学で開かれた日本分析化学会で発表するため、翌日の夜行の東海道線にのつてはこぼれた。新幹線がまだ開通していない一九五四年五月末のことであつた。

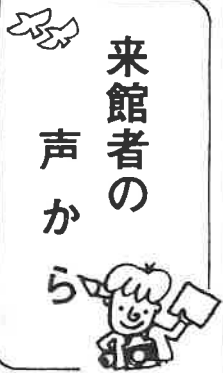
(日本学術会議会員・平和協会理事)



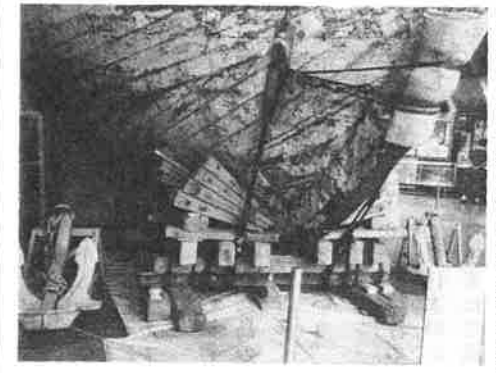
100万人参観者運動を!

'83年8月来館者数	4,283名
通算1ヵ月平均来館者数	4,253名
当月1日平均来館者数	165名
通算来館者数	369,997名

来館者の声から



中学生の頃からずっと念願だつた第五福竜丸展示館へ今日やっと来ました。広島からやって来て、福竜丸に出逢うことで再び「ヒロシマ」への思いがつらくなります。中学生の時、平和教育で、「福竜丸」の映画をみ、ずっとイメージを抱いてきました。傷みがひどいのがつらいです。何とか船体の保存をお願いします。 K・T



船体の本格修理へ

八月二日、東京都の手によっておこなわれた第五福竜丸の緊急修理は大きな反響をよんだ。テレビラジオ・新聞社が多数取材し、久しぶり船はテレビのライトを吸びた。読売ニュース映画のカメラも廻った。修理は船首部分だけで、たくさんのくさびでがっちり固め五十八センチ押しあげ、これ以上の沈下をくいとめた。もっと押しあげないと元に戻らないが今度は

アメリカばかりせめてもしかなかったから、世界の人が「わ」をつつていくのがいいと思う。

島山秀正

中野区の老人クラブ連合会の老人たち一三〇名が福竜丸を見学に来ました。われわれ老人は戦争の残虐さを体験しております。原水爆はこれから第一線にたつもの。絶対に戦争を起こさないように原水爆を世界から追放しましょう。

女性のビキニと、ここでみる「ビキニ」どちらがより知られてゐるだろうか。 染谷裕二

横板がはじける危険があり、鉄製の枠組みを作り何か所かきっちり固める必要があり、内部の修理と合わせ今後にもちこされた。その後工事担当の落合組・都との間で話がすすみ、工事方法、作業計画に本格修理への日程が提示されることになる。船の姿はあまりに痛々しく、新聞、テレビで知って大丈夫ですか、がんばって下さいと展示館を訪ねる人々が声をかけるこのごろである。

編集後記

▼長崎で開催された83年原水爆禁止世界大会 長崎へ参加してきました。二七カ国、百十四名の海外代表者をふくめ一万二千人が参加したこの世界大会の溢れるばかりの力が、世論を動かし、核廃絶へ向けて具体的な行動を進めていくなら世界中の核兵器をなくすこともそう遠くはないと思えました。また、来年の三月は、ビキニ被災三〇周年にあたります。太平洋諸国の人々との熱い連帯が今こそ必要だと痛感しました。

▼残暑きびしかった夏も終りを告げ朝夕涼しい初秋の風を感じる今頃です。夕暮れに近づくと「リン、リン」と虫の声が夢の島にひびきわたります。プールに通って元気な子どもたちの声や、気ままな高校生のグループも、もう姿を見せなくなり、展示館も淋しくなりました。次は、学校の団体見学の登場です。見学予約の電話も鳴りひびきます。子どもたちの声が聞こえてきそうです。

◇おわび
第64号と共に八月十日付発行した福竜丸だより号外は、不備がありましたので取消し致します。

熱っぽく、反核・平和の訴え

八月の展示館から

八月。第五福竜丸展示館は、このほか暑く忙しい。夏の陽は、天井の明かり窓から降りそそぎ、大きな温室にいるかのよう。冷房はまったくきかない。そんな中、さわやかな潮風のように、熱心な見学者があらわれる。

夏休みの課題ノート

きらっとひかる瞳、船をみあげる明るい顔。福竜丸には子どもたちがよく似合う。この八月は、そこにはなやかな少女たちの姿が目立った。思い思いのTシャツ、まぶしいミニスカート。五、六人のグループで、にぎやかに、おやっと思うほどまじめに館内をくまなく見学する。ビデオ・テープもさ

▼展示館でもっとも印象に残ったことは……。10項目にわたり質問がびっしり書かれていた。

夏休みの宿題にとりくむ埼玉県上尾南高校の生徒である。

「わからないことは受付のお姉さんに聞くこと。ここに必らず福竜丸のスタンブを押してやること」先生の注意がきかにくい。毎日毎日訪ねたこのはなやかなグループは三〇余に及んだ。

感想を聞いてみると、何かしなればばと思うが、なにをしたらいいのかわからないと言。しかし「戦争や、原水爆は絶対反対」と強く主張していた。

江東と長崎・広島と連帯

原水爆禁止83年世界大会に前後していくつかの団体が館を訪れた。今年も広島へ子ども代表団を送るという東京都民生協のお母さんと子どもたち六〇余人。ガンマ線とベータ線の違いは何ですかー鋭い質問にドキンとする。遠く岩手山形からも長崎への途中と代表が

たちよった。

地元江東区の代表も平和行進で展示館に集結、都職労江東支部の代表団は全員展示館で結団式をかね見学。青年部の代表は、広島・長崎の市職労の青年と交流し、ともに保存のための募金をすすめた。いとメッセージ、修理がすすむ船から小さな本片をたずさえ長崎に

大阪・京都・東京の「平和展」にも

今年の夏も、各地で平和のための戦争展がひらかれたが、第五福竜丸の大漁旗はじめていくつかの資料がそれぞれの会場に展示され、反戦平和・反核を訴えた。

十二万人もの人々が見た

大阪の通天閣、京都の産業会館で八月初旬ひらかれた展示会には例年どおりたくさんの方々が来るとともに大漁旗、ガイガーカウンタなどが展示、それぞれの空襲戦時の生活具、遺品とともに、戦争の惨禍、平和の尊さを訴えた。京都では例年以上に十二万人の人々が訪れたという。また東京大田区でひらかれた「第4回平和のための戦争資料展」では、核戦争の

むかった。

組合の機関紙「くちぶえ」は二号にわたって福竜丸の保存のための特集とし、福竜丸だよりの記事を再録しつつ「平和のシンボルを守ろう」とよびかけた。焼津の市職労の青年たちとの交流も九・二三にむけすすもうとしている。

実態を示す写真と共にビキニ事件の写真が大きく人目をひいていた。

俳句大会も盛大に

小さな俳句で反核・平和の大きな声を、と八月七日第十四回原爆忌東京俳句大会がひらかれ、平和協会も協賛。京都、長崎大会もあいついでひらかれ、来年は全国大会を有意気さかんだったが、千三百余首も結集された句の中から都知事賞、新俳句人連盟賞とともに平和協会賞も大会賞の一つとしてささやかに作られた。

月見草ですよあなたまだ行方不明

九月二十三日には、第三回久保山忌句会もひらかれる。

死の灰から三〇年

写真・文 桐生広人

マーシャルの被ばく者たちはいまーその3

マーシャル諸島の核実験の被害は、直接「死の灰」を浴びた島の人たちだけではない、もっと多くの島にも病人がでているという。マジョロの港で会ったピリモン・サプローさん(20)は、18歳の時日本に留学した人で、今でも日本のことを内地という。彼の生まれた島はウォッチェとい、ブラボー実験の時は「死の灰」ではなく「死の霧」が降ったという。当時、米

国が発表した汚染地域には含まれていなかったが、その後の調査で、ほんのわずかな放射性降下物があったと発表した島である。「島の人はみんな病気になる。子どもが死んで生まれたり、変な子どもが生まれたりしている。」「あの爆発の毒のせいだ」とピリモンさんはいう。

また、イバイ島で会ったティモティ・チョアブ君は生まれた時、左手首がなく、両足も内側に曲がった状態だ



ティモティ・チョアブ君 5歳。イバイ島で生まれた。

った。その後米国で手術を受け歩けるようになったが、左手の先はない。両親は死の灰を浴びたこともなく、汚染された島に住んだこともないが、核実験の標的にされた廃船の近くで魚を取り、その魚を食べたために放射線の影響を受けたからだ、とネルソンさんは説明した。

帰国する前夜、ネルソンさんは私をロンゲラップの人たちの集まりに招き「このひどい様子を日本人たちに伝えてください。そして日本の医者や治療のためによこしてくれないか。また、重症の被ばく者は日本で治療してくれないか」という。

何年も前から、この地域への調査団の派遣を原水爆禁止運動にたずさわる人たちが検討しているようだが、実現はむずかしそうだ。しかし、核の放射線の被害から何人も逃れられないという現実、広島、長崎ばかりでなく、この地域にもあるというところを見つめ直されるべき時期にきているのではないだろうかということを私は強く感じた。

第五福竜丸平和協会第55回理事会決定事項(83・7・20)

出席理事 三宅泰雄・斎藤鶴子・猿橋勝子・本多喜美・檜山義夫(委任状)

1. 活動報告(文書報告) 略
2. 当面の活動計画(1) 展示館の見学促進と充実(2) 83年原水禁世界大会に平和協会代表を派遣する(3) 病気の理事を除く理事全員と事務局(4) 第14回原爆忌東京俳句大会、第3回久保山忌句会を協賛する(5) 九・二三久保山愛吉追悼記念集会はおこなわない(6) ビキニ水爆被災30周年の記念行事等評議員会の討議も経て次回理事会以降論議をはかる(7) 資料室建設へ都知事への要請、資料リストの作成、俊鶴丸資料の調査収集をはかる(8) 非核東京都宣言実現のためのよびかけを支持する(9) 福竜丸だより巻頭の執筆分担は八月服部学、九月猿橋勝子、十月田沼肇、十一月田中健介氏に要請する。
3. 船体の補修 七月四日の専門家諸氏の意見書を付し東京都へ応急の修理と本格修理を再要請する。
4. 評議員改選 十九氏の評議員を選出(氏名既報)。九月二十七日に評議員会をひらく。
5. 賛助会員拡大 急務のこととし被災30周年にあたり訴えもだし拡大につとめる。次回理事会で具体策を討議する。